

2025年10月22日

**多国間制裁監視チーム（MSMT）
報告書（北朝鮮によるサイバー及びIT労働者の活動）
に関する共同声明（仮訳）**

以下の声明は、最新のMSMT報告書公表に際し、米国、豪州、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、韓国及び英国の政府から発出された。

以下、本文

我々、多国間制裁監視チーム（MSMT）参加国は、北朝鮮によるサイバー及びIT労働者の活動を通じた国連安保理決議に定められた制裁違反及び回避に関する報告書を本日公表した。MSMTは北朝鮮に関する国連制裁措置の履行を監視し報告するため2024年10月に設立された多国間のメカニズムである。本報告書はMSMTの公式ウェブサイトでご覧可能である(<https://msmt.info>)。

本報告書は、2025年5月の不法な露朝軍事協力に関する報告書に続き、MSMTによって公表される第2回報告書であり、国連によって措置の対象に指定された北朝鮮の団体と暗号資産窃取、不正なIT業務、サイバースパイ行為を含む北朝鮮による悪意あるサイバー活動との間の深い関係について記述している。本報告書は、北朝鮮による制裁の違反及び回避活動に関してMSMT参加国及び民間部門から提供された情報をまとめたものであり、北朝鮮が、大量破壊兵器（WMD）及び弾道ミサイル計画のための数十億ドルの窃取及び不正な取得のために、外国政府、民間企業及び一般市民から継続的に搾取していることを示している。朝鮮人民軍偵察総局（RGB）を含む国連によって指定された北朝鮮の団体は、国連安保理決議第1718号で課された資産凍結措置を回避するためにこれらの活動の大部分を行っている。

MSMTは、この情報を、北朝鮮のサイバーアクター及びIT労働者に関する計画から、各国の政府、民間企業及び市民を守るために極めて重要な情報を国際社会に提供するために、共有する。我々は、全ての国連加盟国に対し、北朝鮮の悪意あるサイバー活動についての認識を高めるとともに、制裁を含

め、国連安保理決議違反に対して責任ある関係者を追及することを促す。

本報告書は、2024年3月のロシアの拒否権行使による2024年4月の国連安保理北朝鮮制裁委員会（1718委員会）専門家パネルの終了によって生じた監視の間隙を埋めるためのものである。本報告書は国際社会による国連決議の完全な履行を後押しするものである。関連する国連安保理決議の継続的な違反及び回避を考慮し、我々は、国連安全保障理事会に対し、専門家パネルの終了前と同じ力と構造で専門家パネルを再設置するよう求める。

MSMT第2回報告書の公表により、我々は、関連する国連安保理決議の完全な履行に向けた我々の共通の決意を改めて強調する。我々は、北朝鮮に意味のある外交に関与するよう促すとともに、全ての国連加盟国に対し、北朝鮮及び関連する国連安保理決議に反して北朝鮮の不法な活動を助長する主体による脅威が継続する中で、国際の平和と安全を維持するためのグローバルな取組に参加するよう求める。

我々は、北朝鮮に関する国連安保理決議の履行の監視と、現在も行われている国連制裁違反及び回避の試みについての関心を高めるため、引き続き取り組んでいく。

（了）